

# イラン戦争後の 脱炭素と再生可能エネルギーの国際動向

～中東危機がもたらす転換点と脱化石燃料依存のリアル～

—講師— 英・ストラスクライド大学 アカデミックビジター  
九州大学 洋上風力研究教育センター 客員教授 安田 陽 氏  
環境エネルギー政策研究所 (ISEP) 主任研究員

日時 2026年5月21日(木) 午後4時～6時  
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)  
会場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

## [重点講義内容]

2026年2月にイスラエルおよびアメリカ合衆国(米国)によるイラン攻撃(いわゆるイラン戦争)が始まり、ホルムズ海峡閉鎖による化石燃料価格高騰を引き起こしている。米国ではドナルド・トランプ氏が2025年に大統領として就任して以来(第二次トランプ政権)、同国の脱炭素や再生可能エネルギーの政策に大きな変更がなされ、特に日本においては脱炭素・再生可能エネルギー政策が国際的に後退したという言説や、「脱・脱炭素」などのネガティブな印象論で流布されることが多い。

一方、国連や種々の国際機関を中心にここ数年急速に脱炭素の議論や合意形成が進展している。こうした合意形成は、米国の離脱などの一進一退はあるものの、ウクライナやイランなどの紛争・戦争が起こるたびに後退するどころかむしろ加速し、再生可能エネルギーや電気自動車(EV)、ヒートポンプのさらなる普及促進がますます叫ばれている。化石燃料に依存する限り、価格高騰や供給途絶リスクに常に晒される。脱炭素は気候変動緩和策だけでなく、このようなリスクの高い化石燃料依存構造から脱却するための有力かつ即効性のある手段だとみなされつつある。こうしたポジティブな情報は日本にはなかなか入ってこず、内外の情報ギャップや情報の非対称性がますます拡大していると言える。

本講演では、まず国際動向を紹介し、何故、国際議論と日本の国内議論との間でこれほどの乖離があるのかを認識し、本来科学的にどうあるべきかについて、科学的方法論の観点から解説する。

1. 脱炭素の国際動向と日本の立ち位置
  - (1) 化石燃料依存のリスク、リスクマネジメントとしての脱炭素
  - (2) 国際機関における脱炭素・再生可能エネルギーの議論
  - (3) 日本における脱炭素・再生可能エネルギーの議論
  - (4) 国際議論と国内議論の乖離(米国＝世界ではない)
2. 再生可能エネルギー超大量導入の国際議論
  - (1) 電化とセクターカップリング(なぜEVとヒートポンプが進むのか)
  - (2) 外部不経済と便益(長期的視野とリスクマネジメント)
  - (3) 柔軟性(「再エネは不安定」は時代錯誤)
3. 日本の課題と解決策、情報収集の方法論
  - (1) フェイクニュースと科学的方法論
  - (2) 非科学ナラティブとEBMP(根拠に基づく政策決定)
  - (3) AIと専門情報検索
4. 質疑応答／名刺交換

PROFILE 安田 陽(やすだ よう)氏

1989年3月 横浜国立大学工学部卒業。1994年3月、同大学大学院博士課程後期課程修了。博士(工学)。同年4月 関西大学工学部(現システム理工学部)助手、専任講師、准教授、を経て2016年京都大学大学院 経済学研究科 再生可能エネルギー経済学講座 特任教授を経て、2024年4月より環境エネルギー政策研究所(IEEP)主任研究員、九州大学 洋上風力研究教育センター 客員教授。2024年5月よりストラスクライド大学アカデミックビジター。現在は英国グラスゴーを拠点に研究活動を行っている。専門分野は風力発電の耐雷設計および系統連系問題。現在、日本風力エネルギー学会理事、日本太陽エネルギー学会理事、IEC/TC88/MT24(国際電気標準会議 風力発電システム第24作業部会(風車耐雷))議長など、各種国際委員会専門委員。主な著作として「世界の再生可能エネルギーと電力システム」シリーズ(インプレス R&D)、「2050年再エネ9割の未来 -脱炭素達成のシナリオと科学的根拠」(山と溪谷社)など。

Table with 2 columns: Category (e.g., 受講料, お申込方法) and Description. Includes details on fees (34,320 yen), application methods (QR code, FAX), and payment methods (bank transfer).

事前に、セミナー講師へのご期待、ご要望、ご質問をお受けしております。可能な限り講義に盛り込んでいただきますので、お申し込み後、弊社からご連絡するメールにご返信ください。
■ライブ配信について
＜1＞Zoomにてライブ配信致します。
＜2＞お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ視聴用URLとID・PASSを開催前日までに送り致しますので、開催日時にZoomへご参加ください。
■アーカイブ配信について
＜1＞開催日より3～5営業日後を目安にVimeoにて配信致します。
＜2＞お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ収録動画配信のご用意ができ次第、視聴用URLをお送り致します。
＜3＞動画は公開日より2週間、何度でも都合の良い時間にご視聴頂けます。

5月21日(木) 「イラン戦争後の脱炭素と再エネ動向」 申込日 月 日

Form for company name (貴社名) and address (所在地). Includes a note to mark with a circle (○印) for home or office address.

いずれかの口に必ず✓をお入れ下さい。(アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つ☑をお入れ下さい。)

Registration form for on-site lecture (会場受講), live streaming (ライブ配信), or archive streaming (アーカイブ配信). Includes fields for name (フリガナ氏名), department (所属部署・役職), TEL, FAX, and E-mail.

いずれかの口に必ず✓をお入れ下さい。(アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つ☑をお入れ下さい。)

Registration form for on-site lecture (会場受講), live streaming (ライブ配信), or archive streaming (アーカイブ配信). Includes fields for name (フリガナ氏名), department (所属部署・役職), TEL, FAX, and E-mail.

※「受講証」等の送付先が上記と異なる場合は下記にご記入下さい。

Communication column (通信欄) for additional contact information.

詳細・お申込はこちら↓ ■主催(お申込み・お問い合わせ先) 株式会社 新社会システム総合研究所

お申込み受付 FAX 03-5532-8851

〒105-0003 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4階

Tel:03-5532-8850/E-mail:info@ssk21.co.jp/URL:https://www.ssk21.co.jp

※配信停止、宛先変更、個人情報の苦情及び相談・開示は上記までご連絡下さい。 26267-E

